

地域ネットワークニュース

～7月の勉強会のお知らせ & 6月の勉強会報告～

第162回 地域ネットワーク勉強会



節電の夏を乗り切る

～東洋医学の視点から～

講師：あきら医院 中島章 院長
あい薬局 菅谷厚子 薬剤師

7月12日(火)

午後7時～午後9時

神栖市保健・福祉会館内にて

参加費無料

東日本大震災の影響で、この夏の電力不足が予測され、様々な節電対策もメディアで取り上げられています。夏の家庭での電力消費の最たるものが冷房で、冷房を控えたライフスタイルが推奨されています。

しかし今年の夏も暑くなることが想定され、冷房を控えることで居室が暑くなりすぎて、熱中症や夏バテを引き起こしたり、食べ物なども高温多湿で傷みやすい環境になることが想定されます。

この節電の夏を乗り切るために、医学的な見解から熱中症や夏バテ、夏カゼ、食中毒の予防や対処法について、また漢方の視点からは夏バテを予防するための水分の上手な取り方や、食欲低下時の食事の摂り方などについてお話していただきます。

特に体調を崩しやすい高齢者や小さなお子さんは命に関わることもあります。そういったご家族のいる方や、ケアマネジャー、ヘルパー、保育士等の支援者のみなさんなど、実際に家庭や実務で活用できる内容となっています。ぜひご参加ください。

お問合せ：電話 0299-93-0294 神栖市社会福祉協議会 まちづくりグループ 名雪

第161回 地域ネットワーク勉強会報告 6月21日開催〈参加者25名〉



精神障害者の施設って？

～施設利用の手続きと自立支援の取り組み～

講師：いなしきハートフルセンター 施設長 横山基樹氏（精神保健福祉士）

精神障害を抱える当事者が住み慣れた地域で自分らしい暮らす支えとして、障害者自立支援法による障害者福祉サービスの利用があります。

サービスには暮らしを支える介護給付（身体介護、家事援助、通院介助など）と生活技術を高めるための訓練等給付（仕事を始めるための訓練、施設での生活訓練など）があり、いずれも本人（ご家族）が利用申請しなければ利用はできません。

いなしきハートフルセンターでは施設や福祉サービスの利用の相談だけでなく、精神障害を抱える人たちの日常生活で起こる小さなトラブルや、障害者の雇用に関する相談など、幅広く相談に応じています。

特に地域に生活する精神障害者の「情報」を障害者の暮らしの「現場」で収集し、相談者と医療機関、福祉サービス事業所との連携の架け橋となる関わりについてお話をうかがうことができました。